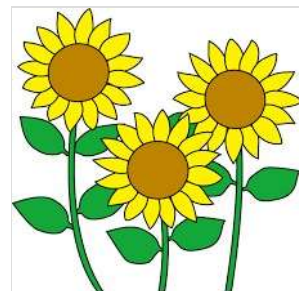


令和2年7月21日

# 校長室だより

第4号

座間市立相模中学校  
校長 金子 憲勝



## 生徒たちと走ることができる幸せ

私は、相模中学校に異動が決まった時に、やりたいことが幾つかありました。その中の一つが、生徒たちと一緒に走ることでした。なぜ、そう思ったかという昔本校で部活動の顧問をしていた時に、生徒たちと一緒に校庭や桜並木などを時々走っていました。一緒に走っていると生徒たちの体調が良く分かると同時に、生徒たちとの心の距離が近くなったような気がします。また、私は頑張っている生徒たちのそばにいと活力が沸き、生徒たちと一緒に汗を流すと気持ちが晴れやかになります。そこで、異動が決まった時に、是非生徒たちと校庭を一緒に走りたいと思っていましたが、残念ながら4・5月は新型コロナウイルス感染症のために学校が休みになり、実現することができませんでした。

ようやく6月中旬から部活動の練習を行えるようになり、その後何回か朝練の時に部活動で走っている生徒たちに混ざって私も走ることができました。昔同様、生徒たちと一緒に走っているとどんどん気持ちが晴れやかになり、走り終わった時には気分が爽快になりました。それと同時に、生徒たちと一緒に走ることのできる幸せを強く感じました。

4・5月是一緒に走ることができなかつたので、部活動が再開され一緒に走ることのできる日々を幸せに感じています。これからも、都合がつけば朝練習に顔を出し、生徒たちと一緒に走りたいと思っています。



## 相模中生の良いところ Part2

前回の校長室だよりで相模中生の良いところを3点紹介しましたが、その続きとして今回も以下に3点のことを紹介します。

朝の職員の打合せを終えると、私は都合がつくと教頭先生と生徒の登校の様子を見るために正門に行きます。登校する生徒の様子を見ていると、挨拶をしっかりとできる生徒が多いことについては前回紹介しましたが、それ以外に「遅刻者」がほとんどいないことに気がつきました。時間に余裕を持って行動できている生徒が多いので、遅刻者がいないのだと思います。この点も本校の大変良い点であり、誇りにできる点です。

新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい相模中様式」を実践していますが、検温しての登校は勿論のこと、手洗いやアルコール消毒が習慣化し、継続してしっかり取り組んでいるとの報告を先生方から受けています。また、飛沫感染を防止するためにマスクを着用するとともに、話をするときには大きな声を控えて会話をする姿を多く見ることができ、一人一人が意識して行動しているのがとても良い点です。

18日(土)から部活動の市内大会が始まり、私は相模中学校の会場担当校長として大会期間中は何かあった時に対応できるように学校で待機しています。18日(土)はバドミントン、19日(日)はサッカーとバレーボールの大会が本校で行われたので、両日試合を見て飛沫対策として小さな声で応援していました。どの部活も、今年度は休校期間が長かったので例年と比べ練習があまりできませんでしたが、一生懸命にプレーしている選手の姿は素晴らしく、ひたむきにプレーする生徒の姿に感動しました。この大会を開催するにあたり、座間市中学校体育連盟の各部担当者は大変尽力しています。バドミントンの閉会式の時に、私は生徒たちに「皆さんのことを支えてくれている家族や先生方に感謝して欲しい。」という話をしました。